

『生成 AI がもたらすビジネスインパクト』 ～生成 AI の活用最前線とそれを巡る知的財産権の課題～

主催：和歌山県／独立行政法人工業所有権情報・研修館／一般社団法人和歌山県発明協会

OpenAI が開発した生成 AI、ChatGPT が出現して以来、生成 AI に関する研究開発が全世界で加速され、大規模言語モデルを扱う多数の生成 AI が利用可能となって来ました。それに伴って、生成 AI をビジネスツールとして有効活用していくためのプロンプトエンジニアリングなどのユーザー側の取り組みも進んでいます。反面、生成 AI による既存のコンテンツの利用など、法的な課題も議論されています。本講演では、生成 AI の活用最前線および、それを巡る法的課題に関し、事例を交えお話しして頂きます。

《日時》

令和6年6月11日（火） 14：30～16：00（受付開始 14：00）

《会場》

フォルテワジマ 4階 大ホール 〔和歌山市本町二丁目1番地〕

《対象》

生成 AI の動向に関心のあるものづくり中小企業の皆様、特許情報等活用に関心のある皆様

《定員》

リアル会場30名、オンライン参加30名（Microsoft Teams 利用）

《講演》

『ビジネスツールとしての生成 AI 及びそれを巡る法的課題について』

講師：弁理士 河野 英仁 氏（河野特許事務所所長：INPIT 派遣専門家）

《略歴》1998年 河野特許事務所入所、1999年 弁理士試験合格、2009年 日本国際知的財産権保護協会（AIPPI）「コンピュータ・ソフトウェア関連およびビジネス分野等における保護」に関する研究会委員、2020年 東京都知的財産総合センターAI×データ知財取得支援専門相談員、2023年 産業構造審議会知的財産分科会特許制度小委員会審査基準専門委員会 ワーキンググループ委員、2024年 日本メディカル AI 学会会員



《事業紹介》



独立行政法人
工業所有権情報・研修館

『IP ランドスケープ支援事業の活用』

講師：弁理士 小林 和史 氏（INPIT 和歌山知財総合支援窓口 支援担当者）

《概要》新事業仮説検証などの経営課題解決のツールとして活用頂いてきました IP ランドスケープ支援事業がリニューアルされ、本年度もご利用頂けることになりました。



＜お申込み・お問合せ＞

一般社団法人 和歌山県発明協会 〔和歌山市本町二丁目1番地フォルテワジマ6階〕

TEL：073-432-0087 FAX：073-422-3750

E-mail：jiiwakayama12@magma.jp URL <http://www.jiii-wakayama.jp/>

お申込みは裏面へ≫≫

<<申込>>

下記、①専用申込フォーム または ②参加申込書（FAX） により6月4日(火)までにお申し込み下さい。

【専用申込フォーム】

下記 URL または2次元コードからお申し込み頂けます。

<https://forms.gle/qff7rX3x2brpkMUu7>



令和6年度 第1回和歌山県知的財産経営戦略セミナー

参加申込書

一般社団法人和歌山県発明協会 宛 FAX：073-422-3750

団体等名		
所在地	〒	
電話番号		
役職・氏名	役職	氏名
メールアドレス※		
参加形式	☐ 来 場	☐ オンライン
役職・氏名	役職	氏名
メールアドレス※		
参加形式	☐ 来 場	☐ オンライン
役職・氏名	役職	氏名
メールアドレス※		
参加形式	☐ 来 場	☐ オンライン

※やむを得ず、開催方法をオンラインに変更させていただく場合の連絡に必要となりますので、必ずメールアドレスをご記入願います。

オンライン参加の方には、お申し込み後、事務局より配信用 URL をメールにてご連絡いたします。

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する運営・情報提供、主催者のセミナー等に関する情報提供についてのみ使用いたします。